

知っていると便利！にほんごのオノマトペ

第2回 病気

こうえきしゃだんほうじん こくさいにほんごふきゅうきょうかい 公益社団法人 国際日本語普及協会 武田 由美 イラスト：リオ輔



ゾクゾク



① 病気になったら、病院に行きます。病院で医者は「どうしましたか」と、あなたに聞きます。あなたは「頭が痛いです」と答えます。それから、医者は「どう痛いですか」「ガンガン痛いですか」「ズキズキ痛いですか」と聞きます。
「ガンガン」は頭が痛いときによく使います。頭をたたかれているような感じです。「ズキズキ」も頭が痛いときに使いますが、歯が痛いときにも使います。「ズキズキ」は心臓が動いているリズムに合わせて、1・2・1・2・・・ズキ・ズキ・ズキ・ズキ・・・とずっと痛いときに使います。
お腹が痛いときには、「キリキリ痛いです」と言う

ことができます。これは、お腹がナイフで刺さされているようなときです。ベルトで締められるように痛いときは、「キューツという感じです。とても痛いです」と言います。
② 手や足にけがをしたときにも「痛いです」だけではなく、もっと詳しく説明しましょう。転んで手や足から血が出たときや火傷をしたときに使うオノマトペがあります。血が出ているところや火傷をしたところが焼けているみたいに熱くて痛いときは、「ヒリヒリ」を使います。けがをしたところが赤くなって痛いときにも使います。友達がけがをして、赤くなっていたら、「ヒリヒリする?」と聞いてみてもいいですね。

③ 最後に、気分が悪いときのオノマトペを紹介します。お酒を飲み過ぎて、気分が悪いときには「ムカムカします」と言います。食べた物やお腹の中にある物が口から出そうなときにも使います。お腹から反対に口が上がってくるときの酸っぱい味がするときにも使います。風邪を引いて、熱があるときは体が寒いです。そのときは、「寒いです」の代わりに「ゾクゾクします」と言います。
もし病気になったら、病院や薬屋に行って、「頭がガンガン痛い」「お腹がキリキリ痛い」と言ってみましょう。いい薬を出してくれますよ。